

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成24年3月15日

vol.8

発行 武蔵野市環境生活部ごみ総合対策課
住所 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
電話 0422-60-1802
E-mail sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/

ものを「捨てる」から「活かす」くらいへ エコ掲示板「むさしのエコポ」はじめます

musashino-eco.bo
むさしのエコポ

3月1日から、ごみを減らし、生活用品をリユース（再使用すること）を目的として、市民のみなさまからお寄せいただいた「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」の情報を掲示する掲示板『むさしのエコポ』を設置します。捨てるのはもったいない生活用品が家に眠っていませんか？『むさしのエコポ』を見れば意外な掘り出し物に出会えるかも？



総合体育館のむさしのエコポ

『むさしのエコポ』は以下の施設に設置されます

- 武蔵野市役所 8階食堂前
- 武蔵野クリーンセンター
- 武蔵野総合体育館
- 武蔵野市民会館
- 中央図書館
- 吉祥寺図書館
- 0123吉祥寺
- 0123はらっぱ
- 各市政センター（掲示板ではなく、ファイル形式で見られます）

申し込みハガキの記入例

- ゆずります
- 石油ストーブ
- 〇〇社製（品番：MS1802）
サイズ：H551×W388×D405mm
色：白
重さ：8.5kg
購入価格：4万円くらい
使用年数・頻度：3年、冬寒期毎日使用
- 無料でゆずります
- 武蔵野花子
- 緑町2丁目
- 電話：54-1221
または X-IL: cnt-clean@docomo.ne.jp



『むさしのエコポ』に情報を掲示するには？

ハガキに必要な事項〔①「譲ります」「譲ってください」の別②品名（修理しないでそのまま使えるもの）③品物の状態④価格（3000円まで）⑤氏名（名字のみでも可）⑥住んでいる町名⑦連絡先〕を記入し、郵送または直接クリーンセンターに申し込んでください。

その他の注意事項・・・

- ・ 掲示できるのは、20歳以上の武蔵野市にお住まいの方です。
- ・ 申込情報をそのまま掲示し、市民同士で直接交渉を行います。記入する個人情報とは公開できる、連絡を取り合うために必要な物に限ってください。利用者間の交渉に市は一切関与しません。
- ・ 交渉が成立したら、クリーンセンターにご連絡ください。

申し込み・お問い合わせ …〒180-0012武蔵野市緑町3-1-5 電話 0422-54-1221
武蔵野クリーンセンター 『むさしのエコポ』担当まで



セカンドステージ！

武蔵野ごみ チャレンジ600g

武蔵野市では一日一人あたりのごみ量600g以下をめざす「セカンドステージ！武蔵野ごみチャレンジ600g」を宣言しております。23年度4月～1月までのごみ量は平均686.6gでした。（22年度692.4g）

生ごみの水切り、必要のないものはもらわないなど、身近なところから、ごみ減量のご協力をお願いいたします。

ちゃんと分別できる人って、 すてきなひとかも…



武蔵野市では、毎年「ごみの組成分析」を実施しています。住居の形態・世帯構成別にごみを回収して中身を分析し、ごみの減量に向けた基礎データを取っています。

ごみ減量協議会のメンバーが組成分析を見学したところ、燃やすごみの中からはリサイクルできる資源物や食べ残した食品、未使用の化粧品など、気をつければごみにならないものがたくさん出てきました。「ごみをきちんと出せる人は素敵な人に違いない」というのが参加者の感想です。組成分析によると、燃やすごみの中には「分別が不適切なもの」が21%も含まれており、そのほとんどが資源化できる紙類や容器包装プラスチックです。また燃やすごみの中には生ごみが44%も含まれていました。ごみを減らすために①資源化するために分別する。②生ごみを減らすために、食べ残しをしない。身近なところから、生活を見直してみませんか？



燃やすごみの入った袋をいくつかピックアップ



ビニールシートの上に広げてみましょう。

①家族のいる世帯の燃やすごみ

資源として出せるものを分別すると、燃やすごみを減らすことができます。



たい焼き、ごはん、ネギなど…料理する時、買い物する時に気を付けたいですね。



その他プラスチック容器包装



ざつがみ



紙パック

市役所、市政センター、コミュニティセンターなどの拠点回収へ（酒パックなどアルミ付きもOK）スーパー店頭回収もご利用下さい。

②単身者世帯の燃やすごみ

資源として出せるものが半分以上ありました。きちんと分別すれば、燃やすごみはこれだけになります。



その他プラスチック容器包装

食品トレイは買ったお店の店頭回収に返して頂くこともできます。



もう一度確認！

「ペットボトル」と「その他プラスチック容器」は軽くすぎ、別々の袋で出して下さい。

このマークが目印
ふたとラベルは「その他プラスチック容器」へ

このマークが目印
*マークがなくて対象となるもの（果物用のネット、発泡スチロールなど）

<ざつがみ（雑紙）>

- ボール紙・菓子箱・化粧箱・包装紙・紙袋・封筒・葉書・シュレッダーした紙・ダイレクトメール・ラップやホイルの芯など

×資源になりません→「燃やすごみ」へ
・使用済みのティッシュペーパー・カーボン紙・加工紙・感熱紙・油紙・ガムテープ・写真・セロハン・ビニールコート紙・ワックスのついた紙・裏にアルミが貼ってある紙・防水加工された紙・粉洗剤の容器など

- ティッシュの箱や窓付き封筒のビニールは切り取って下さい。
- 紙袋かポリ袋に入れ、封をして「ざつがみ」（雑紙）と明記して出して下さい。



生ごみは宝

生ごみ堆肥で作った野菜は美味しい！！

「美味しい野菜の育て方 教えます」
クリーンセンター環境講座報告

10月19日の環境講座には定員を超える33名の申し込みがありました。簡単な講義のあと、「ミニ生ごみ活かす君」を作り、コンポストガーデンに移動して生ごみ堆肥等を混ぜ込み、野菜の植え付けを実習しました。「おいしい野菜を作るには微量ミネラルと微生物が大切です。この微量ミネラルは生ごみ（野菜の皮や芯）に多く入っています。おいしさ、元気の元になっているのは微量ミネラルです。微生物は生ごみを分解してくれる大切なものです。美味しい野菜は元気な野菜です。これを食べれば人も元気になります。」と講師の「じゃがいもの会」今木さんは語ります。

2月8日には長崎県の「大地といのちの会」理事長の吉田俊道さんを迎え、「おいしい野菜の育て方」第2弾を開催しました。60人の参加者が話に聞き入り、野菜を食べ比べ、生ごみ堆肥で作った野菜の美味しさを実感しました。参加者からは「土の重要性、腐敗と発酵、とても興味深かったです」などの感想が寄せられました。



コンポストガーデンに植え付け

次回の講座は5月中旬の予定です。4月15日の市報でお知らせします



マイバッグからはじめる プチエコキャンペーン

～レジ袋を減らすキャンペーンを行いました～

今年度も10月「マイバッグからはじめるプチエコキャンペーン」に取り組みました。市内スーパーマーケット・コンビニエンスストア、商店会、その他の皆様のご協力をえてさまざまな取り組みが行われ、参加イベントには合計1,602名の方のご参加がありました。パネルアンケートでは「マイバッグ持参」「店頭回収」「集団回収」「生ごみの水切り」について調査しました。また、今回ははじめてコンビニエンスストアがキャンペーンに参加、ポスター掲示や抽選会を開催しました。



マイバッグを作ろう！



レジ袋削減キャンペーンに参加しています！

マイバッグからはじめるプチエコキャンペーン

レジ袋・紙袋・スワップン・いらぬものはもらわない、エコライフはじめてみませんか？

武蔵野市ごみ減量協議会 武蔵野市

市内コンビニエンスストアポスター



地球環境・周辺環境に配慮した クリーンセンターを建設します

平成23年10月に設置した「新武蔵野クリーンセンター（仮称）事業者選定委員会」は、学識経験者、専門家、市により、平成24年度末までに、新施設の整備・運営事業における民間事業者を公平かつ適正に選定します。参加事業者には安全で安定したごみ処理装置、景観にマッチした建築デザインなどの提案を求めます。そのため、手続き方法や提案内容を定めた「実施方針」を3月30日にクリーンセンターホームページで公表します。参加予定事業者等に意見を求め、7月に入札公告をし、平成25年1月には提案内容ヒアリング、2月に事業者決定の予定です。

提案ポイントは

- ①環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり…全国で最も厳しい排ガス基準をクリアする焼却処理設備、ごみ発電の導入、再生可能エネルギー（太陽光発電等）の採用、屋上緑化等を重視
- ②災害に強い施設づくり…建築、設備の耐震性能を耐震基準1.25とし、災害時に炉を安全に停止し、安全を確認後、すみやかに炉を立ち上げ、ごみ発電を稼働させることのできるシステムの導入
- ③景観及び建築デザインを重視…景観に配慮した施設づくり、開かれた施設づくり、緑豊かな施設づくりなど
- ④地域社会と暮らしに配慮した施設づくり…地域社会や地元企業への貢献、環境学習等のサービス提供、ユニバーサルデザインへの配慮



ごみ発電は、ごみを燃やした時の熱で蒸気を作り、蒸気タービンに送って発電します。

参考：施設・周辺整備協議会で検討している建築デザインイメージ（市役所から見た南立面図）



*煙突デザインは今後の検討

問い合わせ先：環境生活部クリーンセンター

電話 0422-54-1221

ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/cms/sec/clean/index.html>

第4回むさしの環境フェスタを開催しました

11月6日に、武蔵野クリーンセンターで、「今こそライフスタイルを見直そうー子どもたちの未来のためにー」をテーマに、むさしの環境フェスタを開催しました。当日はエコトレインむさしの号、ちんどん隊によるパフォーマンスもあり、多くの親子連れでにぎわいました。また、環境に関する展示やクリーンセンターの施設見学、おもちゃのかえっこなどを通して、約1100人ももの来場者のみなさんに楽しみながら、身近な生活と環境問題について考えてもらうことができました。



エコトレインむさしの号ではチェックポイントで環境に関するクイズにもチャレンジしました。

ご存知ですか？

環境美化推進員

市長が条例に基づき、環境美化推進員を委嘱しています。主な活動は◎タウンウォッチング（地域情報の収集、報告）◎タウンクリーニング（地域清掃活動）◎支部活動（支部長会議、支部会議への参加など）◎研修への参加、市の啓発事業への協力活動◎協働事業参加などです。23年度（3月現在）は76名が活動しています。



11月一斉清掃への参加

朝一番隊

市の玄関口ともいえる吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅周辺地区において、まちの美観を害するたばこの吸い殻やごみの投げ捨て等を防止し、安全で清潔で美しいまちづくりを目指すため、毎週日曜日早朝、清掃を行っています。



清掃後にごみを分別

どちらも24年度の募集は終了しましたが、定員に満たない地区もありますので、関心のある方はごみ総合対策課 電話 0422-60-1802へお問い合わせください。